

広報

あつま

2015(平成 27)年

1

No.749



年頭のごあいさつ



町民の負託に応える 議会を目指して

厚真町議会議長

渡部孝樹

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい平成27年の新春を、健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日ごろから議会に對しましては、温かいご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、一年の世相を象徴する「今年の漢字」に「税」という漢字が選ばれました。これは、昨年4月から消費税率が17年ぶりに引き上げられ8パーセントになったこと、さらには10パーセントへの引き上げについて、いろいろと議論されたことが決定理由ということでもあります。今回は、これまでに無く国民の生活に直結する身近な事柄が「今年の漢字」として選ばれましたが、身近な事柄ということでは、今や一般家庭でも飛躍的に普及してきている「LED照明」、その実用化を可能にしたのが、赤崎教授、天野教授、中村教授の3人の日本人研究者による「青色LED」の発明であります。3人は、これまで世界のさまざまな科学者が30年もの間、成功させることができなかった青色LEDの発明研究に成功し、「明るく、長寿命で省エネルギーな白色光源を可能にした」として、ノーベル物理学賞を受賞されました。この快挙は、同じ日本人として誇りに思うところありますが、それにとどまらず、世界の人々に恩恵を与える革新的な発明として、大変感銘を受けるニュースでもありました。

本町におきましては、台風などの影響もなく、総じて平穏な一年ではなかったかと思えます。昨年は冬の降雪量が少なく、その後の雨量も極端に少なかったことから、町内の一部地域においては水田の灌漑用水が不足し田植え作業に遅れを来すなど、田畑ともに生育が心配されましたが、生産者の栽培努力



確かな努力と 挑戦者の気概をもって 大いなる飛躍の1年に

厚真町長

宮坂尚市朗

2015年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまとともに心からお慶び申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、春耕期の渇水により田植え作業に大きな影響がありました。各用水組合の迅速な対応により被害を最小限に留めることができました。その後は天候に恵まれ、農作物全般の作柄は良好でありましたが、米価など作物によっては販売価格の低迷もあり生産額が期待通りとならなかった面もありました。

こうした中であつて、町民の悲願でありました厚幌ダムが10月に本体着工となり、平成30年度供用開始に向け大きく前進したことは、大変喜ばしいことでした。関連する国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業、厚真川河川改修事業、統合簡易水道事業も厚幌ダム建設の進捗に合わせ進められており、ようやく安全で安心なまち、効率的で安定した生産基盤が実現します。これまでご協力いただいた関係各位に改めて感謝申し上げます。

さて、年末には、衆議院議員総選挙が執行されました。人口減少・地域創生という日本社会の構造的な課題や円安による物価高が地方経済や私たちの暮らしに負の連鎖をもたらさないよう、的確で迅速な政治的配慮を強く望みたいと思います。また、コメ政策の大転換や農業分野の規制改革、TPP問題など第一次産業における喫緊の課題についても、地方を尊重し都市との共存に必要な総合戦略を早期に示していただくことを期待しています。

地方を取り巻く環境は、これまで同様に大変厳しいものがあります。本町の人口動態のうち自然動態は、少子高齢化により依然として一定数の減少が続けていますが、社会動態では、最近の5年間で転入・転入者数が拮抗しており、人口減少傾向が改善されつつあることは、町内外において本町の特色を生かした重層的な移住・定住・子育て支援政策が評価をいただいているといえます。また、教育の取り組みでは、子どもたちの「生きる力」の育成を目指してまいりましたが、全国学力・学習状況調査結果において継続して好成績を収められたことは、学校・家庭

のご努力はもとより、子どもたちの頑張りを改めてたたえたいと思います。

今年は、厚南地区において子ども園・児童館の建設に着手するとともに、同地区で現在建設中の子育て支援住宅を今後は厚真市街地も含めて計画的に建設し、若い世代が安心して子どもを育てられる環境づくりを総合的に進めてまいります。厚真市街地においては、障がい者の日常生活や社会活動を支援し、併せてバス待合を兼ねた町民交流の場となる複合型地域福祉活動拠点「まちなか交流館」を4月開館を目指して整備中であり、また、起業化支援事業などを活用した飲食業や菓子・パン工房、美容業などの個店開業準備が少しずつですが続いています。皆さんに親しまれてきた店舗の閉鎖もありましたが、6次産業化、農商工連携、グリーン・ツーリズムなどさまざまな分野での新たな挑戦と支援を通して、にぎわいの再生と本町の潜在力を十分に引き出してまいりたいと思います。

また、今年は、平成28年からスタートする「次期総合計画」の取りまとめの年であり、苫小牧市と医療や交通・産業振興などさまざまな分野で連携を図るための定住自立圏形成協定の締結年でもあります。他にも、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく厚真町版地方創生総合戦略の策定、間もなく答申をいただく第7次厚真町農業振興計画、新たな子育て支援計画、第6期高齢者福祉・介護保険事業計画と多岐にわたり、いずれも厚真町のまちづくりの指針となる重要な計画であります。「人を育て・人を残し、豊かな森と海、輝く田園を次世代へ」をテーマに、議会や町民の皆さま、関係機関などと充分な議論のうえ策定作業を進めてまいります。

人口減少社会の到来という困難な時代ではありますが、確かな努力と挑戦者としての気概をもって、山積する課題一つひとつに丁寧に向き合っていくなければなりません。

2015年が大いなる飛躍の一年となるよう、職員とともに全力を傾注してまいりますので、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

とその後の天候が順調だったことにより、おおむね水稲・畑作ともに平年以上の作況となりました。このことは、それぞれの農家の皆さまをはじめ、それを支える方々の努力のたまものであり、出来秋をお喜び申し上げますとともに、関係の皆さまのご尽力に對しまして、心より感謝を申し上げます。

また、町民の百年の大計であり悲願でありました厚幌ダム建設事業のダム本体工事が着工され、いよいよ大きく動き出しますが、これに伴う商工業者の皆さまへの経済波及効果も大いに期待されるところでございます。

国内における経済情勢を見ますと、安倍首相の経済政策「アベノミクス」による効果は、一部においては景気回復の実感があるとするものの、9割の人が景気回復を実感しないという世論調査結果も出ていた状況でありました。そんな折、消費税10パーセントへの増税先送りなど、国民に信を問うとして、突然の衆議院解散、アベノミクスの継続の是非を最大の争点とする選挙が行われた結果、これまでの政策が継続されることとなりましたが、国民が期待する景気回復など、重要課題が山積しており、これらの解決に向けた政府の取り組みに大いに期待するところであります。

さて、厚真町議会は、本年4月に改選を迎え、新たな体制がスタートすることになりますが、今後におきまして、議員一同、町民の皆さまの意思を町政に反映させるため、議会活動に積極的に取り組むなど、町民の負託に応える議会を目指し、全力を傾けてまいります。どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

※公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていたいております。ご理解を賜りますようお願いいたします。

あなたにとって、2014年はどんな年でしたか？

みのり 農の里2014

元旦に全国放送で厚真をPR NHKお正月番組で生中継！

NHKの元旦全国生放送番組で「あつま国際雪上3本引き大会」が生中継で紹介され、人気お笑いコンビのTIMがレポーターとして来町し、雪上3本引きに挑戦しました。会場の表町公園には町内外から約500人が来場。あつま汁（豚汁）や甘酒、ジンギスカンの無料提供や餅まき、あつまるくん卓上カレンダールの無料配布なども行われました。

【1月1日】



厚真町と陸上自衛隊が 災害時協力協定書を手交

厚真町と陸上自衛隊第7師団第7特科連隊との「災害時協力協定書手交式」が行われ、南川信隆第7特科連隊長と宮坂町長が協定書に調印し、協定書を交わしました。この協定は、大規模災害等が発生した際に、適切かつ効率的な人命救助活動や生活救助活動を行うために交わされたもの。今後は、協定を反映させた訓練等も計画していく予定です。

【8月5日】



厚真町の応援大使・ファイターズ 矢貫俊之選手トークショーを開催

北海道日本ハムファイターズの『北海道179市町村応援大使事業』で厚真町の応援大使を務めていただいた矢貫俊之選手のトークショーが開催され、町内外から約150人が参加し、楽しいひとときを過ごしました。抽選会では、矢貫選手から当選者にサイン入りのボールやユニフォームなどが手渡され、来場者は喜びで顔をほころばせていました。

【11月25日】

大豆保管用低温貯蔵・常温 集出荷貯蔵施設が完成

J Aとまこまい広域の大豆保管用低温貯蔵・常温集出荷貯蔵施設が完成し、竣工式・落成式が行われました。施設には作業用リフトや予冷機器を整備し、季節に応じて温度管理が可能。大豆の集出荷・乾燥・調製作業の効率化と品質保持に貢献する施設となります。



落語家の三遊亭好楽さんを講師に健康づくり講演会が開催され、約200人が参加しました。落語家の三遊亭好楽さんは、ホスピスでの高座のエピソードや大切な家族との関係、笑点の裏話など、小気味よく随所に笑いを盛り込んだ巧みな話術に、会場は大いに沸いていました。



三遊亭好楽さんを招き 健康づくり講演会

ツール・ド・北海道で 厚真町が通過コースに

国内最大級の自転車ロードレース「第28回ツール・ド・北海道2014」が行われ、国内外から参加した1000人の選手が道内を駆け巡りました。厚真町内を通過した第1ステージでは、Aコープ厚真店前の沿道に集まった観客が選手に歓声を送りました。



地域おこし協力隊として、新たに2名が任命され、農業支援員として中島佑太さんを、林業支援員として中山睦基さんを任命し、町長が委嘱状を交付しました。



地域おこし協力隊として 2名に委嘱状を交付

【6月2日、9月29日】

2014年の主な出来事

1月	NHK全国放送のお正月番組で生中継(1日)、厚真市街地で厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初式(6日)、成人者44人が出席し第66回町成人式を挙(12日)、第7回あつま国際雪上3本引き大会(19日)
2月	スターフェスタ2014「第15回冬の花火大会・『午』の干支文字焼き」、2014光のページェント「第14回ランタン祭り」を開催(1日)、上野地区に大豆保管用低温貯蔵・常温集出荷貯蔵施設が完成(4日)、町防災マスター研修会を開催(20日)、浜厚真救難所創立80周年式典(23日)
3月	平成26年第1回定例町議会が開会(5日)、食の工夫展(13日)、高齢者大学修了式(26日)
4月	上厚真で厚真消防団・支署合同の春季合同模擬火災訓練(9日)、建設協会道路美化清掃(14日)、田んぼのオーナー種まき体験(27日)、厚真ライオンズクラブが上厚真に100匹のこいのぼりを掲揚(27日～)
5月	厚真ダム水神宮で取水式(8日)、桜丘・森田さんの水田で御田植祭(23日)、厚真町防災会議を開催(27日)、町防災アドバイザーとして定池祐季さんへ委嘱状を交付(30日)
6月	町観光協会主催「田んぼのオーナー」が田植え体験(1日)、北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーフィールドクラブ厚真町少年野球教室開催(7日)、平成26年第2回定例町議会が開会(12日)、第42回田舎まつり前夜祭・本祭が表町公園周辺で開催(21～22日)
7月	落語家の三遊亭好楽さんを招き健康づくり講演会(1日)、奥州市前沢ジュニアサッカースポーツ少年団が来町し姉妹都市交流(26日)、第31回あつま海浜まつりが浜厚真海岸で開催(27日)、ともいきの里夏まつり(31日)
8月	北海道日本ハムファイターズ応援観戦ツアー(3日)、町と陸上自衛隊が災害時協力協定を手交(5日)、厚南会館と表町公園で商工会主催の盆踊り(14～15日)、第14回集まりンピック(第49回町民体育祭)を本郷かしわ公園野球場で開催(24日)、町戦没者追悼式(30日)、こぶしの湯あつまで謝恩フェスティバル(31日)
9月	平成26年第3回定例町議会が開会(10日)、NHKジュニアバドミントン教室で陣内貴美子さんが来町し指導(14日)、町敬老会にシルバー295人が出席(17日)、町交通安全協会主催の交通安全パレードを開催(26日) J Aとまこまい広域が学校給食に新米を提供(30日)
10月	町民防災講座HUGを開催(4日)、田んぼのオーナー稲刈り体験(5日)、第15回健康ふれあいマラソン大会(13日)、厚真支署・厚真消防団による防火パレード(15日)、ハロウィンパーティー(24日)
11月	町表彰式で3団体・9人を表彰(3日)、町文化祭が総合福祉センターなど4会場で開催(3～4日)、むし歯のない子どもの表彰式で28人が表彰(14日)
12月	歳末チャリティー即売会・演芸大会(1日)、厚幌ダム建設現場で安全祈願祭を開催(5日)、平成26年第4回定例町議会が開会(11日)、交通安全・防犯町民集会(18日)

協働のまちづくりは、町民の皆さん一人ひとりが“主役”です。

豊かで美しい自然、人と人とのふれあいを大切にするまちを目指して



12月11日

平成26年第4回定例会

議会

平成26年第4回定例会が、12月11日に開催されました。
審議されたのは、平成26年度一般会計補正予算など議案8件、同意1件、認定6件、報告4件、意見書案3件で、いずれも原案どおり可決・認定されました。
その主な内容についてお知らせします。

同意

固定資産評価審査委員会委員
に野澤政博さんを選任(再任)

厚真町固定資産評価審査委員会委員に、野澤政博さん(新町)が選任(再任)されました。

議案

子育て支援住宅の設置および管理に関する条例を制定

子育て世帯その他地域における居住の安定に特に配慮が必要な世帯を対象として上厚真きりタウン(上厚真544番地ほか)に設置された、地域優良賃貸住宅「子育て支援住宅」の設置および管理に関する条例が制定されました。

子育て支援住宅への入居募集は、平成27年2月頃から開始予定です。

上厚真地区の1路線を
町道として認定

道路法第8条第2項の規定に基づき、次の路線が町道に認定されました。

■路線名 上厚真南支線
・起点 字上厚真318番地1
・終点 字上厚真302番地1
・延長 540m

平成26年度一般会計予算
59億4,347万2千円に

平成26年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ3,052万3千円が追加され、総額で59億4,347万2千円になりました。

補正された主なものは次のとおりです。

【追加】
・ふるさと寄附金推進事業 924万7千円
・地域公共交通対策事業 67万円
・町営ブロードバンド事業

《審議された内容》

番号	件	名
同意1	厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任	
議案1	厚真町子育て支援住宅の設置及び管理に関する条例の制定	
〃2	厚真町国民健康保険条例の一部改正	
〃3	厚真町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	
〃4	町道路線の認定(上厚真南支線)	
〃5	平成26年度厚真町一般会計補正予算(第7号)	
〃6	国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
〃7	簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	
〃8	公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	
認定1	平成25年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	
〃2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	
〃3	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	
〃4	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	
〃5	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
〃6	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	
報告1	所管事務調査報告(各常任委員会)	
〃2	現金出納例月検査の結果報告	
〃3	専決処分報告(工事請負契約の変更)	
〃4	専決処分の報告(工事請負契約の変更)	
意見書案1	漁業用燃油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書	
〃2	厚真川河川改修事業促進に関する意見書	
〃3	魅力ある地方創生へ向けた施策の推進を求める意見書	

・地域振興基金積立金 328万4千円	・緑化事業基金積立金 308万円
・高齢者等の冬の生活支援金 1,160万円	・新ビジネスモデル創出事業 825万円
・障害者自立支援給付事業 52万円	・校舍整備事業 170万円
・エンゼル基金積立金 3,000万円	・学校給食センター管理運営事業 156万8千円
	【減額】 ・穀類乾燥調製貯蔵施設機器改

報告

各常任委員会から
調査事項などを報告

■総務文教常任委員会
(了安正秋副委員長)

【現地調査】

①厚南地区認定こども園建設予定地

【事務調査】

①厚南地区認定こども園について

②厚南地区児童会館について

③住民健診保健事業について

④防災対策について

⑤交通体制の整備について

■産業建設常任委員会

(木戸嘉則委員長)

【事務調査】

①元気な農家チャレンジ支援事業について

②道の駅検討委員会の検討結果報告について

③地域活性化推進事業新鮮組活動補助金について

意見書案

3つの意見書案を採択し
内閣総理大臣等に提出

次の意見書案が採択され、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長等に提出されました。

■漁業用燃油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書
・提出者 木戸議員
・賛成者 吉岡議員、大捕議員、下司議員、木本議員

■魅力ある地方創生へ向けた施策の推進を求める意見書
・提出者 井上議員
・賛成者 吉岡議員、大捕議員、木戸議員、木本議員、了安議員、海沼議員

次の意見書案が採択され、北海道知事に提出されました。
■厚真川河川改修事業促進に関する意見書
・提出者 木戸議員
・賛成者 吉岡議員、大捕議員、下司議員、木本議員

※行政報告は、次ページに掲載しています。

簡易水道事業特別会計予算
10億9,798万2千円に

平成26年度簡易水道事業特別会計予算は、歳入、歳出それぞれ2,876万8千円が減額され、総額で10億9,798万2千円になりました。
補正された主なものは、次のとおりです。

【減額】
・豊川地区配水管布設替事業

修事業 △318万6千円
・国費道路事業(新町フォーラム線道路改良工事) △4,383万7千円

・道路施設点検事業 △117万6千円
・橋梁長寿命化事業 △491万6千円

国民健康保険事業特別会計予算
6億7,967万2千円に

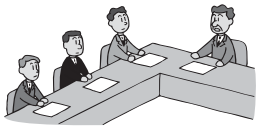
平成26年度国民健康保険事業特別会計予算は、歳入、歳出それぞれ762万7千円が追加され、総額で6億7,967万2千円になりました。
補正された主なものは、次のとおりです。

【追加】
・一般被保険者高額療養費支給事業 730万円

認定

平成25年度町各会計の
歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員会(海沼裕作委員長)に付託されていた平成25年度の厚真町一般会計および国民健康保険事業をはじめとする5特別会計歳入歳出決算に



税 軽自動車税の 税額が変わりました

平成26年度の地方税法の一部改正に伴い、平成27年度から軽自動車税の税額が下記のとおり変更となります。

①原動機付自転車、二輪車、小型特殊自動車等

原動機付自転車、二輪の軽・小型自動車および小型特殊自動車については、平成27年度から新税率が適用されます。

車 種		税率（年額）	
		旧 税 率	新 税 率
原動機付自転車	総排気量が50cc以下のもの	1,000	<u>2,000</u>
	総排気量が50ccを超え90cc以下のもの	1,200	<u>2,000</u>
	総排気量が90ccを超え125cc以下のもの	1,600	<u>2,400</u>
	ミニカー	2,500	<u>3,700</u>
軽自動車	二輪（総排気量が125ccを超え250cc以下のもの）	2,400	<u>3,600</u>
	雪上を走行するもの	2,400	<u>3,600</u>
小型特殊自動車	農耕作業用	1,600	<u>2,000</u>
	その他	4,700	<u>5,900</u>
二輪の小型自動車（総排気量が250ccを超えるもの）		4,000	<u>6,000</u>

②三輪および四輪以上の軽自動車

三輪および四輪以上の軽自動車については、平成27年4月1日以後に新規登録（※1）する車両の税率が引き上げられました。（平成27年3月31日以前に新規登録した車両については、旧税率から変更ありません。）

また、平成28年度以降は新規登録後13年を経過した車両に対して重課する規定が設けられました。

車 種		税率（年額）		
		旧 税 率	新 税 率	
		平成27年3月31日以前に新規登録した車両	平成27年4月1日以後に新規登録した車両	新規登録から13年を経過した車両（※2）
軽自動車	三輪	3,100	<u>3,900</u>	<u>4,600</u>
	四輪以上の乗用営業用	5,500	<u>6,900</u>	<u>8,200</u>
	四輪以上の乗用自家用	7,200	<u>10,800</u>	<u>12,900</u>
	四輪以上の貨物営業用	3,000	<u>3,800</u>	<u>4,500</u>
	四輪以上の乗用自家用	4,000	<u>5,000</u>	<u>6,000</u>

- ※1 新規登録とは最初の新規検査年月のことで、自動車検査証に記載されている初度検査年月のことです。
※2 重課については、平成28年度以降に適用となります。

（農作物の作柄状況について）

農作物の作柄と販売状況についてご報告いたします。
今年は冬の降雪量が少なく、融雪期以降の雨量も例年になく極端に少なかったことから、町内の一部地域において水田のかんがい用水が不足となり、田植え作業に遅れを来しましたが、各用水組合のご尽力と関係機関の協力、その後の天候が順調であったこともあり、水稻では、農林水産省統計部および北海道農政事務所が公表した作況指数は、全国101、北海道107、胆振108と全道的に「良」となりました。

しかし、本年は全般的に天候に恵まれ生育量が多かった半面、その分、^こ粉の数が増えて栄養が行き渡らなかったことなどにより、完全に登熟しきれなかった玄米が多く、調整作業に時間を要しています。

米の出荷量（JAとまこまい広域分）は、政府備蓄米・新規需要米等を含め製品換算重量で約7,051トン約118千俵（昨年6,826トン／約114千俵）、規格外米を合わせると約8,758トン146千俵（昨年7,719トン約129千俵）の出荷となる見込みであります。製品率は青死米の発生量が多く、平年を下回る状況であり、販売環境については、豊作基調の上、民間在庫の過剰により価格は低迷し、大変厳しい状況となっております。

小麦につきましては、4月下旬以降は総じて高温に推移したことから生育が進み、収穫は平年より4日早い状況となり、収量は干ばつの影響を受け、平年を下回りましたが、1等麦の比率は平年を上回る結果となりました。

大豆につきましては、平年より4日早い生育となり、品質的には裂皮等の発生は少なく^{しょうりゅう}小粒傾向となりましたが、収量は平年並みの見込みとなっております。

^{しょうす}小豆につきましても、平年より4日早い生育となり、粒径が全体的に小粒傾向でありましたが、収量は平年を若干上回ったものの、消費量の減少および実需者の繰り越し在庫の過剰により相場は低迷し、厳しい販売環境となっております。

てん菜につきましては、霜害・風害の影響も無く順調に生育が進み、また、生育後期の寒暖の差から収量・糖分ともに平年を上回る見込みであります。

平成27年産の秋まき小麦は、10月5日頃に^{はら}播種作業が終了し、播種後の降雨により出芽は良好に経過し、順調に生育しています。

農産部門の粗生産額としては、主要作物である米を含め小麦・小豆・^{ばし}馬鈴薯などの畑作物におきましても価格の低迷が続き、その取扱いは全体として昨年度を下回る見込みであります。

そ菜については、高温・多照により収量増となりましたが、総じて計画並の状況で推移いたしました。

しかし、施設園芸においては成育の前進により出荷が早まったため、産地の競合により安価傾向に推移しています。
また、畜産の取扱金額は、肉牛の販売が順調に推移したことや、生乳についても乳価が安定したことにより計画を上回ると見込まれておりますが、飼料価格の高騰など生産コストの上昇が酪農・畜産経営全体を圧迫しており、厳しい状況が続いています。なかでも養豚においては一部、PEDの発生から昨年度を下回る見込みであります。



（建設工事の進捗状況について）

次に、本年度の建設工事の^{しんしゆく}進捗状況についてご報告いたします。

胆振総合振興局室蘭建設管理部所管の建設工事につきましては、道道北進平取線は、メルクンナイトンネル内の舗装工事、照明工事を施工しており、舗装工事は12月下旬の完成予定で、照明工事は3月下旬の完成予定であります。

道道上幌内早来停車場線につきましては、幌内地区の落石対策工事は3月中旬の完成予定で進捗率は30％であります。また、幌内地区の道路改築工事は、厚真川の河川改修工事に合せて幌内橋の架け換えを計画しており、調査設計および用地買収を進めております。

夕張厚真線の護岸工事につきましては、9月に完成しており、道道富野軽舞線の護岸工事につきましては、3月下旬の完成予定であります。

道道厚真浜厚真停車場線の上厚真市街地区から日高自動車道厚真インターチェンジまでの改良工事につきましては、来年度の着工を目指して用地買収を進めております。

河川改修工事につきましては、厚真川は富里地区から幌内地区にかけて河道掘削、築堤盛土、護岸工などを施工しており、3月下旬の完成予定で進捗率は10％であります。入鹿別川は、長沼川合流点より上流の河道掘削、護岸工を施工しており本年度の工事は完成しております。

厚幌ダム建設事業につきましては、10月に本体工事が発注となり、工事の本格的着工に向けた準備を進めているところですが、現在、工事を行っております転流工は12月完成予定で、道道上幌内早来停車場線と町道等の付け替え工事は3月下旬の完成予定であり、進捗率は41％であります。

次に、町の道路事業についてですが、新町フォーラム線、漁業団地線、宇隆東和線、上厚真市街6号線、新町公園通り線、児童会館通り線、豊沢共栄線、フォーラムビレッジおよび上厚真きらりタウンの町道工事は完成しており、共和上厚真線および軽舞西支線は12月末の完成予定であります。橋梁^{きょうりょう}工事につきましては、浜厚真地区の臨港大橋補修工事が完成しております。

公園整備事業につきましては、本郷公園および新町公園整備工事は完成しており、上厚真区画整理区域内の上厚真きらり公園整備工事につきましては、1月末完成予定で進捗率は60％であります。

次に、住宅事業ですが、表町団地のエレベーター改修工事および上厚真かえで団地2号棟、上厚真C団地の外部改修工事と駐車場整備工事は2月下旬完成予定で、進捗率は11％であります。町有住宅改善工事につきましては、富野地区および軽舞地区は完成しており、鹿沼地区は12月完成予定となっております。

上厚真きらりタウンの子育て支援住宅建設工事につきましては、2月中旬の完成予定で、進捗率は30％となっております。

次に、簡易水道事業ですが、豊川地区、豊沢地区、共栄地区、宇隆地区配水管布設替工事は完成しております。統合簡易水道事業につきましては、富里地区の取水^{しずみ}堰および沈砂池の建設工事が3月中旬の完成予定で進捗率は70％であり、豊沢地区配水管布設工事は2月下旬の完成予定で工事が始まったところであります。

次に、浄化槽市町村整備工事ですが、浄化槽設置予定25基のうち18基が完成しており、進捗率は72％であります。

平成28年度から平成37年度までの10カ年の 新しいまちづくり総合計画の

策定が始まりました

■計画の名称は？
「第4次厚真町総合計画」になります。

■策定する目的は？

町は、平成18年度に第3次厚真町総合計画を策定し、『いのち満ちる 農（みのり）の里あつま 大いなる田園の町』を基本テーマに、総合的かつ計画的なまちづくりを展開してきました。

この第3次厚真町総合計画が、平成27年度に目標年次を迎えることから、人口減少社会の到来や少子高齢化の進展、厳しくなる財政状況など、現在急速に変動している社会情勢や地域主権時代に伴うさまざまな課題に的確に対応するため、平成28年度以降のまちづくりの指針となる新たな総合計画の策定を行います。

■計画の構成は？

第4次厚真町総合計画は、①基本構想、②基本計画、③実施計画で構成します。

①基本構想とは？

町の現状や課題、可能性などを踏まえ

やすいレイアウトなどにより、分かりやすい計画とします。

■現在の総合計画の内容は？

①名称 第3次厚真町総合計画

②基本テーマ

『いのち満ちる 農の里あつま

』「農」を生かした協働のまちづくりの推進

美しい海や川や森や田畑があり、人も健やかに、美しく、互いに協働しあつてともに生きる町

人間として生きる力の源になる「農」

があり、それを生かした文化と産業が盛んな町

自ら生き、自ら住み、自らのふるさとだと実感できる町

③計画期間

平成18年度から平成27年度までの10年間

■計画の策定体制は？

策定体制としては、町民目線からの意見集約として、①まちづくり委員会、②まちづくり委員会調査研究専門部会、役場内の体制として③総合計画策定委員会、④総合計画策定ワーキングチームで

た上で今後の目指すべき将来像を示すとともに、これを達成するためのまちづくりの目標を定め、長期的な展望に立つて総合的かつ計画的なまちづくりを行うための基本指針になります。

計画期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間とします。

◎構成

基本テーマ（副題）／将来人口／施策の基本目標／施策の体系／重点施策

②基本計画とは？

基本構想で定めた将来像の実現に向けて、具体的な施策・事業を体系化した実施事業の内容を示すものとして策定するものです。

特に、第4次厚真町総合計画では、行政経営を的確に推進するために、施策ごとに目指す姿を明らかにするとともに、可能な限り具体的な数値目標を掲げられるようにします。

計画期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間としますが、社会情勢の変化に対応するため、必要に応じて中間年度で見直しができるものとします。

◎構成

現状と課題／施策の目指すべ

構成します。

①まちづくり委員会とは？

町長の諮問に応じ、計画策定に関して必要な事項を調査、研究および審議し、意見を取りまとめて町長に答申します。

②まちづくり委員会調査研究専門部会とは？

まちづくり委員会の学識経験者と町民公募委員で構成し、町の課題整理と論点整理などを行い、総合計画に関して必要な事項を調査、研究および協議し、町が目指すべき将来像・目標等について総合計画策定委員会に提言をします。

③総合計画策定委員会とは？

副町長、教育長、全管理職で構成し、基本構想および基本計画の素案を策定します。

④総合計画策定ワーキングチームとは？

主幹以下の職員で構成し、専門部門ごとに課題整理・論点整理を行います。

平成28年度から平成37年度までの10年間の厚真町の進むべき方向を決める大事な計画です。

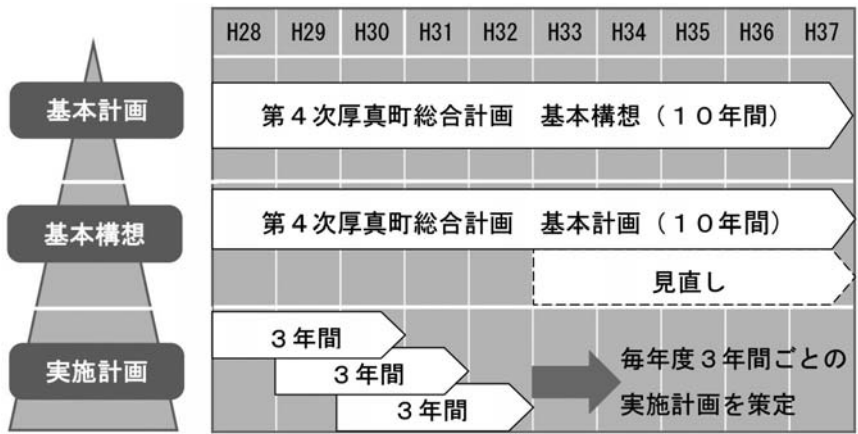
町民の皆さんにご意見・ご提案等をいただき、より良い計画にしたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いし

③実施計画とは？

基本計画で定めた施策を実現するため、個別事業の内容や実施期間を示すものとして策定します。進行政管理のプロセスを踏まえ、毎年の予算編成の方針とします。

計画期間は3年間とし、社会や経済の変動に適切に対応するため、ローリング方式により毎年度見直しを行います。

き姿／施策指標（数値目標）
／施策の方向性／主要な事業
事業（事業名・概要・事業費）



■計画策定に当たっての目標は？
①時代の変化に対応した計画を目指します。
人口減少、少子高齢化や環境への意識の高まり、厳しくなる町の財政状況など社会情勢の変化がもたらす影響を的確に把握しながら、これらに対応した計画になることを目指します。
②実効性の高い計画を目指します。
基本計画、実施計画および町の予算との連動性を強め、財政見通しを踏まえた実効性のある計画を目指します。
③町民意識の反映・町民参画を目指します。
第4次厚真町総合計画策定に参画する町民会議をはじめ、まちづくり講演会、町民討論会の開催、関係団体からの意見聴取、町民アンケート、パブリックコメントなど、さまざまな形で町民の皆さんが参画できる機会を設け、まちづくりの将来像を共有できる計画を目指します。
④分かりやすい計画を目指します。
行政サービスに対する満足度を高めていくために、評価や成果の視点を重視した計画体系の構築を行うとともに、数値指標を取り入れるなど、目標や評価、達成度を明確に把握できる計画を目指します。
また、簡潔で要点を押さえた記述、見

ます。

今後も、厚真町まちづくり町民アンケートの集計結果や第3次厚真町総合計画の評価・推進状況、まちづくり委員会調査研究専門部会の調査・研究・協議内容などの策定状況を随時お伝えします。

◆問い合わせ先

まちづくり推進課

総合計画策定グループ

（☎27-3179）

◆◆◆厚真町まちづくり町民アンケートについて◆◆◆

第4次厚真町総合計画の策定にあたり、町政に対する満足度やまちづくりのニーズを計画に反映させるために、34項目についてアンケートを実施しました。今回はその中で「定住意向」の結果を報告します。

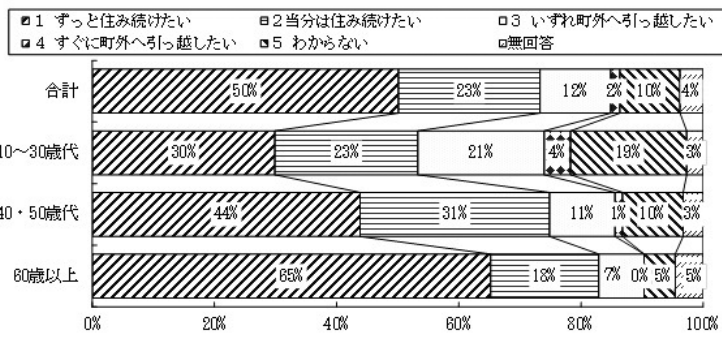
なお、他の項目の結果については、集計が完了しましたら報告いたします。

- （1）調査の対象者：18歳以上の町民1,800人
- （2）調査方法：郵送による配布・回収
- （3）調査期間：平成26年8月11日～29日
- （4）回収数：783票（回収率：43.5%）

●定住意向について●

回答全体では、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答えた方が約73%となっています。

年代別で見ると、年齢が高くなるほど「ずっと住み続けたい」と答えた方の割合が高くなっていますが、10～30歳代は約53%と全体を下回っていて、「すぐに町外へ引っ越したい」「いずれ町外へ引っ越したい」が約25%と高い割合を示しています。



12月のまちの話題

無事故・無災害での完成を願って

ダム建設工事の安全と無事を願い安全祈願祭を開催

町民の長年の悲願であり、昨年10月に本体工事が着工された厚幌ダム建設工事の安全無事を願い12月5日、北海道胆振総合振興局と厚真町、施工者の安藤ハザマ・岩田地崎・田中特定建設工事共同企業体による安全祈願祭が、幌内地区の厚幌ダム建設予定地内で行われました。

祈願祭には、山田耕三北海道胆振総合振興局副局長や同振興局室蘭建設管理部職員、工事関係者、宮坂町長、渡部町議会議長、町議会議員、町内各団体長や地元自治会長など約70人が参列し、玉串を捧げ、工事の安全と無事を祈りました。

式典後、施工者を代表して、肥後満朗(候)安藤・間代表取締役副社長が「数十年にわたる地域住民や関係各位のご尽力により着手することができた。施工あたっては安全を最優先させ、持てる技術を結集して地域の皆様の期待に応えられるダムを無事故・無災害で完成させたい」とあいさつを述べました。厚幌ダムは洪水調整・農業用水・水道用の多目的ダムとして建設。平成30年3月20日完成予定、同年4月供用開始予定です。



掘入の儀を行う山田胆振総合振興局副局長と宮坂町長(上)



あいさつを行う肥後満朗副社長

さらなる技術の向上を・苫東石油備蓄隊が防災技能コンテストで奨励賞を受賞

石油コンビナート等の自衛防災組織の防災体制の充実強化を図ることを目的とした『石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト』（消防庁主催）が行われ、全国20道府県から33隊が出場した中、胆振東部消防組合推薦の石油備蓄基地共同防災組織「苫東石油備蓄隊」が奨励賞を受賞しました。

12月15日、胆振東部消防組合消防本部で表彰状の伝達式が行われ、藤原一消防長が苫東石油備蓄隊の吉田隼人中隊長へ賞状を伝達しました。

苫東石油備蓄隊は事業所員15人で構成されており、専任消防として、事業所・基地内の点検や安全防災の仕事に従事しています。吉田中隊長は「日頃の訓練や練習の成果が出せたのでは。連帯感も強まり、受賞したことで隊員の意識も変わってきたように思う。今後はさらに上の賞を目指して、日々の訓練をしていきたい」と抱負を述べていました。



藤原消防長から表彰状の伝達を受ける吉田中隊長



上厚真小・中央小で新幹線出前講座を開催

平成28年3月開業予定の北海道新幹線についての理解を深めることを目的とした『北海道新幹線出前講座』（北海道胆振総合振興局主催）が12月19日、上厚真小学校（油谷諭校長）と中央小学校（久葉忠男校長）を会場に開催されました。当日は、両校に胆振総合振興局のキャラクターいぶりONEも来校。児童らは、職員の説明やクイズ等を通じて新幹線について学びました。



厚真ライオンズクラブが独居老人宅を歳末慰問

厚真ライオンズクラブ（佐藤秋夫会長）が12月20日、今年の締めくくりとなる、毎年恒例の『独居老人歳末慰問』を行いました。今年は、町内に住む80歳以上の一人暮らしの高齢者71人の自宅を訪問。会員らは、切り餅やそば、お茶、のりなどの品物が入った紙袋を手に高齢者宅を訪れ、メッセージカードを添えて手渡ししました。

多彩なステージに笑いと拍手 歳末チャリティー演芸大会

歳末恒例の町婦人団体協議会（藤本昭子会長）による「第38回歳末助け合いチャリティー演芸大会」が12月1日、総合福祉センターで行われました。

今年は、宮坂町長と役場職員有志、あつまるくんによる歌とダンスでスタートし、約20の個人・サークル・団体が歌や踊りなどを披露しました。また、今年新規採用となった役場新人職員5人も出演し、仮装で歌と寸劇を披露し、会場から声援と拍手を受けていました。このイベントの益金は、厚真町社会福祉協議会に寄附されました。



体を張った名演技？に会場からも笑いが



綾部室長から表彰状を受ける本田さん

本田弘さん(上野)が森林づくりコンクールで奨励賞を受賞

平成26年度ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール（カラマツ部門）で、本田弘さん（上野）が奨励賞を受賞し12月17日、胆振総合振興局の綾部勉森林室長が役場を訪れ、本田さんに表彰状を伝達しました。

本田さんは、農業の傍ら長年にわたり自己所有林の整備を手掛け、農業と林業の複合経営を実践されています。伝達後、本田さんは「森づくりは楽しいこと。これからは、北海道に本田農場の森ありと言われるような森づくりをしていきたいです」と喜びと抱負を語っていました。



厚真福祉会でクリスマス会

社会福祉法人北海道厚真福祉会（岩筋雅弘理事長）の特別養老人ホーム豊厚園とリハビリセンターのクリスマス会が12月18・19日の両日、同施設内で行われました。

入所者・利用者の皆さんは、テーブルいっぱいのごちそうを食べながら、ステージで繰り広げられる職員の踊りや厚真町民吹奏楽団によるクリスマスソングなどの演奏を楽しんでいました。

ファイターズの管理栄養士を招き研修会

11月29日、胆振管内体育協会連絡協議会研修会が総合ケアセンターゆくりで開催され、胆振管内の体育協会会員やスポーツ推進委員、スポーツ少年団関係者ら約70人が参加しました。

研修会では、北海道日本ハムファイターズの専任管理栄養士・柄澤紀さんによる講演と演習が行われ、参加者は、プロ野球選手の健康や栄養管理を行っている柄澤さんの話に興味深く聞き入っていました。





初めて見るマルチコプターに興味津々

ぐんぐん空へ！マルチコプター デモ飛行

丸博野沢組（野澤政博社長）のグループ会社である道南測量株式会社
が所有する航空撮影用マルチコプターのデモンストレーション飛行と
写真撮影が12月19日、こども園つみきグラウンドで行われ、こども園つ
みきの3・4・5歳児や町職員らが見学を行いました。

このデモンストレーション飛行と写真撮影は、希望があれば、1月か
ら2月頃にかけて町内の各学校や保育園を対象に無償で実施すること
のこと。野澤社長は「マルチコプターを間近で見る機会はなかなかない
と思うので、ぜひこの機会に見ていただければ」と話していました。

まちの福祉について理解を深めよう

12月17日、上厚真小学校（油谷諭校長）の6年生が町内の福祉施設や
保育園を訪れ、施設見学と町の福祉について学びました。これは、総合
的な学習の時間（わくわく）の一環として、施設見学やインタビューを
通して地域福祉について学ぶことを目的として実施されたもの。

この日、総合ケアセンターゆくりを訪れた7人の児童は、職員から説
明を受けながらゆくり内を見学した後、福祉担当の職員に、体の不自由
な人への援助・工夫についてや聴導犬・盲導犬について、バリアフリー
の意味についてなどの質問を行い、福祉への理解を深めていました。



職員から説明を受け施設を見学する児童ら

物を大切に「歳末チャリティー即売会」

町コミュニティ運動推進協議会の「歳末チャリティー即売会」が12月1
日、総合福祉センターで行われました。会場には町民から寄附された衣類
や小物、食器など約900点が並べられ、来場者は気になった商品をつつ
手に取りながら品定めしていました。

同協議会の松井満男会長は「今年は出品もお客さんも少なかったのだ
すが、じっくり見てたくさん買ってくれた方が多かったです。おかげで、例
年同様多くの収益を寄附することができ感謝しています」と話していました
。この日の売り上げ41,974円は北海道共同募金会に全額寄附されました。



品物を手にじっくり品定めする来場者

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金 1月30日(金)で締め切りです！！

申請はお済みですか？まだの方はお早めに申請を！

臨時福祉給付金

【支給対象者】

平成26年度分の町民税（均等割）非課税者の方が
対象です。

※ただし、次の方は対象外です。

- ①課税者の方に生活の面倒を見てもらっている場合
- ②生活保護の受給者である場合など

子育て世帯臨時特例給付金

【支給対象者】

次のどちらの要件も満たす方が対象です。

- ①平成26年1月分の児童手当・特例給付を受
給されている方
- ②平成25年の所得が児童手当の所得制限限度
額未満の方

【申請書の提出先】役場町民福祉課（窓口・郵送） ☎26-7872（平日8時30分～17時30分）

※給付対象となる可能性がある方がいる世帯には、7月上旬に税務グループから申請書を郵送しています。

【添付書類】

（本人確認書類）運転免許証・健康保険証等の写し／（口座確認書類）通帳・キャッシュカードの写し

まちの話題 plus

育てたお米でおにぎりを作ったよ！ つみき園児が収穫祭としめ縄作り体験

12月8日、総合ケアセンターゆくり調理実習室で、こども園つみき
（宇佐美修一園長）のきりん組園児が収穫祭を行い、自分たちが育てた
お米を使ったおにぎり、厚真産の食材のみを使った豚汁を先生や父母
らと一緒に作りました。

園児たちは、食育の一環として春から米作りを体験。その締めくくり
となる収穫祭では、少し緊張した表情で米とぎや野菜を切る作業に取り
組み、炊き上がったお米でおにぎり作りに挑戦しました。

また、調理後には稲わらを使ったお正月用のしめ縄作りも実施。園
児たちは講師の説明を受けた後、縄をねじって編む作業に苦戦ながら
も、父母や先生たちと協力してしめ縄を完成させていました。



お母さんと一緒にニンジン切りにチャレンジ！

事故や犯罪に気をつけ良い年末年始を

町と町交通安全推進委員会、町交通安全協会、町防犯協会による『平
成26年度交通安全・防犯町民集会』が12月18日、総合福祉センターで
行われ、自治会や事業所、関係団体などから約70人が参加しました。

集会では、苫小牧警察署交通第一課の村田典繁企画係長が、交通事故
の発生状況や冬型の交通事故防止について、また、同署生活安全課の神
尾豪生活安全係巡査部長が、被害が急増し、ますます巧妙になっている
振り込め詐欺などの特殊詐欺の手口や被害防止策について講話を行い、
歳末に向けての交通事故防止や犯罪被害防止を訴えていました。



巧妙な詐欺の手口について話す神尾巡査部長

楽しい遊び満載！上小フェスティバル

上厚真小学校（油谷諭校長）で12月12日『上小フェスティバル』が開
催され、児童や保護者をはじめ、宮の森・さくら保育園児、地域の方た
ちなどが多数来場し、お祭りを楽しみました。

今年は『お客さんを楽しませて上小フェスティバルを成功させよう！』
をテーマに、各学年が工夫を凝らしたゲームやアトラクションの
お店を設置。また、ステージ発表では、4・5・6年生がそれぞれ縄跳
びや手品、合奏を披露。来場者は、スタンプカードを手に各ブースを回
り、児童らと交流しながら楽しいひと時を過ごしていました。



工夫を凝らした楽しいアトラクション

餅をペッタン！宮の森保育園で餅つき

宮の森保育園（佐藤秋夫園長）で12月13日、餅つき会が行われ、園児や
保護者ら約80人が参加し、冬の楽しいひとときを過ごしました。

今回は、2歳から5歳までの園児が餅つきを体験。園児たちは、交代で
大きくて重い杵を持ち、お友だちや先生、保護者から応援を受けながら、
餅をついていました。餅がつき上がると、4～5歳児の園児が一つひとつ
手で小さく丸める作業を体験。園児たちは、先生やお母さんたちに手
伝ってもらいながら餅を丸め、お雑煮やきなこ餅、みたらしのお餅を作
っておいしく食べていました。



大きな杵でお餅つき。ペッタン、ペッタン！

人のうごき

12月 1 日～12月15日届出分

(おこわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載につ
いての確認ができた方を掲載しています。

◆◆◆ おわびと訂正 ◆◆◆

広報12月号中、下記のとおり誤り
がありました。おわびして訂正いた
します。

■ 7 ページ本文・4 行目

【誤】近藤副町長から
【正】宮坂町長から

■ 13 ページ・年末年始ガイド

【誤】あつまクリニック
12月30日～1 月4 日休み
【正】あつまクリニック
12月29日午後～1 月4 日休み

キッズ2月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
2 Helloえいご 開放日	3 節分『豆まき』 ※予約必要	4 びよびよ広場	5 開放日	6 開放日 ※園ホール開放日
9 開放日	10 開放日	11 休館日	12 開放日	13 子育て講座 『バレンタインの お菓子作り』 ※予約必要
16 Helloえいご 開放日	17 開放日	18 びよびよ広場	19『おはなし のびっ子』 開放日	20 開放日
23 開放日	24 開放日	25 あそびの広場 『おひな様』 ※前日までに予約してね!	26 開放日	27 開放日 ※午後「玩具洗い」 のため休館

※水曜日の午後はサークル活動日☆お母さんたちの集まりの場にご利用ください。(予約必要)

※利用時間 10:00～11:30、13:00～16:00

※『あそびの広場』 10:00～11:30

1 歳～就学前までのお子さんとご家族が対象です。手遊び・ゲーム・
製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご』 開催日の午前中

ALTの先生が来てくれます。遊びながら楽しく英語に触れることが
できます。年齢に関係なくお越しください！

※『びよびよ広場』 10:00～11:30

0～1 歳までのお子さんとご家族が対象です。お子さんを自由に遊ば
せながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

※開放日には、お気軽に遊びに来てください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、そのほ
かお問い合わせは☎27-2438 (直通) 子育て支援センターへ!!



ホツと ひといき

この時期になると、1 年が
経つのは本当に早いと感じ
られ、時間の経過感覚的には
その早さが年々加速度を増し
ているようにも思う。その感
覚は私だけではないだろう。
ちよつと調べてみると、「ジ
ヤネーの法則」なるものがあ
るそう、それによれば、9
歳の息子にとって、1 年を振
り返ったときの心理的長さは
9 分の1 年であるのに対し、
38 歳の私にとってのそれは38
分の1 年だそう。つまり、
息子にとっての1 日の心理的
長さは、私にとって約4 日分
に相当するのだ。うーん、な

んだかわかったような、わか
らないような法則だが、確
かに授業は長く感じたなあ。
ほかに、歳をとると新鮮
な驚きや経験が減って毎日が
単調になることも、時が早く
過ぎるように感じる理由のひ
とつだそう。うん、これは
納得。
そんなこんなで、子どもの
頃、遠い未来だと思っていた
30 代最後の年、2 0 1 5 年は
想像していた以上の早さでや
ってきた。不惑の40 歳を目前
に、大いに悩み、迷いながら
チャレンジする年にしたい。
(ふ)

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、
正解者の中から抽選で5 人に『図書カード』と
『あつまくんグッズ』をプレゼントします。

問 題

2015 年（平成27 年）の干支は何でしょう？



▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・
住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のこ
とについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 1 月26 日(月)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120

厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)
【12月号の答え・正解者】 12月号の答えと正解
者は2月号で発表します。お楽しみに！

クイズ・わかるかな？

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん
教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

みんなの



みんなの広場

子育て支援センターからのお知らせ

子育て講座 『バレンタインのお菓子作り』

- ◆日 時 2 月13日(金)
10:00～11:45終了予定
 - ◆場 所 総合ケアセンターゆくり
2階 調理実習室
 - ◆対象者 2 歳～就学前までの親子（年齢
に多少満たなくても興味のある
方はご相談ください。）
 - ◆持ち物 エプロン、三角巾（バンダナな
ど）、お手拭き
 - ◆締 切 2 月2 日(月)
- ※人数把握のため、必ずお申し込みをお願い
します。
※託児あり。(必要な方は、必ずお知らせく
ださい。)

『おはなしのびっ子』さんが 来てくれますよ～！

- ◆日 時 2 月19日(木) 10:30～11:00
- ◆場 所 子育て支援センター「ゆうゆう島」
- ◆対 象 小学校就学前のお子さんをお持ち
の親子
- ◆内 容 ペープサート「手ぶくろ」、大型絵
本「でんしゃでいこう でんしゃでか
えろう」、その他



【お問い合わせ・申し込み先】子育て支援センター（☎27-2438）

あつま未来箱・インターネットでの意見等受理状況

■受理状況 平成26年12月受理件数 15件（未来箱12件・ホームページ3件）

あつま未来箱は、厚真町役場本庁舎、総合ケアセンターゆくり、青少年センター、厚南会館、あつま
クリニック、桂歯科クリニック、厚真歯科の町内6 カ所に設置されているほか、FAXや厚真町公式ホー
ムページ（電子意見箱）を利用することができます。

■いただいたご意見・要望など

- ・上厚真郵便局横の路上駐車をやめてほしい。見通しが悪く、冬は除雪の邪魔になっている。
- ・上厚真の農協に、ATMだけでなく窓口も設置してほしい。
- ・子どもが参加する町の行事について、開催場所や日程、時間などをもう少し考慮してほしい。
- ・小学校から学童までの道路で、ふざけて歩いている子どもたちがいて危険。事故が起こる前に、数
カ所に大人が見張っていてほしい。もしくは、バスで学童を往復する便を作ってはどうか。
- ・ドラッグストアや大型食料品店、ホームセンターなどの商業施設の誘致希望。

■電子意見箱について

自宅から簡単に意見を投稿することができる「電子意見箱」が、町公式ホームページに設置されてい
ます。トップページの左側バナー欄に「町への意見」がありますので、ご利用ください。

【厚真町ホームページ】 <http://www.townatsuma.lg.jp/>

あつま未来箱・電子意見箱についての問い合わせ先

役場まちづくり推進課 企画調整グループ（☎27-3179）



プロが教えるシャリの味…シャリは寿司の命です



見るのとやるのは大違い…でもきつと役に立ちます

厚高インフォメーション



186



地域の教育力 ～ 福祉・調理講座より ～

12月12日、3年生の選択授業「フードデザイン」において、厚真町特産品開発支援員の石田さんを講師に迎えた「クリスマス・フレンチ講座」が行われました。この授業では、すでに2度の外部講師による調理実習が行われています。1回目は同支援員の高田さんを講師とする「パン作り」、2回目が石田さんの「巻き寿司」、そして今回が3回目です。生徒たちは、その道のプロからじかに手ほどきを受けます。その目は、誰もが実生き生きとしています。

厚真高校では、他にも3年生の選択授業「生活福祉基礎」において、町内手話サークルの土居さんによる全5回の手話授業や、安平町の飛田さんによる全5回の点字授業を行っています。いずれも外部講師による専門的な指導です。

6月には、町内16カ所の事業所で職業体験をさせていただきました。また、防災避難訓練や救急救命講習では地元厚真消防署の方がかけつけてくれますし、交通安全教室や防犯教室では厚真駐在所の保里所長さんや交通安全指導員の土居さんがお世話してくれました。

こういったことを振り返るとき、恵まれた地域の教育力に支えられながら学校が成り立っていることを実感します。そして改めて、そのありがたさを痛感しています。学校と地域が二人三脚で生徒を育てていく。これからも、そんな理想を追い求めていきたいと決意を新たにした年の暮れです。



上厚真小1年
内山 裕翔くん(7)

「笑っている僕の顔の版画です。髪の毛が難しかったけど、顔の形を大きくするのがうまくできました。」



ぼくたちの作品



上厚真小1年
蹴場 葉月くん(7)

「僕がにっこり笑っている顔です。目の形が上手にできました。服に襟をつけたところを工夫しました。」

ぼくの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

厚真中学校

3年A組の皆さん

(書いてくれたのは) 下川原 沙希さん

その155 厚真中学校



私たち3年A組は、とても個性的な人が多いクラスです。普段からとても明るく、笑顔が絶えないクラスです。学校祭や体育大会では、クラス全員が団結して、とても良い思い出を作ることができました。

学級目標は「パズル輝け最強のOne Piece」です。この学級目標を胸に日々努力して、行事では、一人一人が輝けるOne Pieceになることができました。もちろん、クラスの中でぶつかり合うこともありましたが、それがあっての今のこのクラスだと思います。

学校生活は残り少なくなってきました。その、残り少ない一日一日を大切に過ごしていきたいです。また、今まで勉強を教えてくれた先生方への感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

回答

- ① 静岡県・O型・射手座
- ② 神さまはいる
- ③ バレエの先生になる
- ④ 【得意】国語
【苦手】数学
- ⑤ 1年目
- ⑥ 自然が美しい。お米がおいしい。
- ⑦ 【趣味】短歌づくり
【特技】短歌づくり、書道
- ⑧ ラーメン、チョコレート
- ⑨ ハリーポッターシリーズ、韓流の宮廷物
- ⑩ キミ達の故郷は素晴らしい

直撃インタビュー
〇〇先生を紹介します！
Vol. 33

厚真中学校



すだ ゆみこ
須田 由実子 先生

質問

- ① 出身・血液型・星座
- ② 座右の銘
- ③ 小さい頃の夢
- ④ 得意・苦手だった教科
- ⑤ 厚真に来て何年目
- ⑥ 厚真の良いところ
- ⑦ 趣味・特技
- ⑧ 好きな食べ物
- ⑨ 好きな本または映画
- ⑩ 子どもたちにひと言

文芸あつま ◆短歌◆

冬空に彩る花火我街のランタン祭り屋根ごしに見る
初日の出さ庭に迎へて掌を合はすこの一年もすこやかなれど
あらたまの年を迎へて願うことたくさんありて活力となるや

(京町 木村 百合子)
(本町 飛谷 富夫)
(新町 徳地 美登)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十九号』から抜粋)

ほけんの掲示板2月

乳児健診

とき・ところ 4日(水) 総合ケアセンターゆくり
対象 H26.8.14～H26.11.4生まれ(3～6カ月)またはH26.2.13～H26.5.4生まれ(9～12カ月)のお子さん
受付 個別にご案内します
持ち物 母子健康手帳、バスタオル
その他 9～12カ月のおさんは、歯科相談も行います。歯ブラシをお持ちください。

母親教室

とき 24日(火) 10:00～13:00
ところ 総合ケアセンターゆくり
対象者 町内にお住まいの妊婦さんとパートナー
申し込み 2月17日(火)までに町民福祉課健康推進グループにご連絡ください。
持ち物 母子健康手帳、筆記用具、エプロン、手拭きタオル
その他 調理実習、体操を行います。動きやすい服装でお越しください。

児童相談所巡回相談

とき・ところ 25日(水) 総合ケアセンターゆくり
時間 時間は人数が確定次第決定します。
対象 お子さんの発達や子育てについて、お悩みや相談のある方ならどなたでも相談できます。
時間 個別にご案内します
申し込み 2月4日(火)までに、町民福祉課福祉グループまでご連絡ください。
担当スタッフ 室蘭児童相談所 児童福祉司ほか
その他 個人情報・秘密は厳守いたします。

二種混合予防接種

とき・ところ 2日(月)、3日(火) あつまクリニック
対象者 小学6年生
二種とは、ジフテリアと破傷風のワクチンを混合したものです。
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
持ち物 母子健康手帳、印鑑

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 23日(月)～27日(金) ※26日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①生後12カ月～24カ月までのお子さん
 ②H20.4.2～H21.4.1生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
 ※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方：母子健康手帳、印鑑

苫小牧市夜間・休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	(住所) 苫小牧市旭町2-9-2 (☎ 0144-35-0001) (☎ 0144-35-9099)
月曜日～金曜日	19:00～翌朝 7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
土曜日	14:00～翌朝 7:00	
日曜日・祝日	9:00～翌朝 7:00	

四種混合予防接種 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

対象児 生後3カ月～90カ月までのお子さん
標準的な接種時期と接種間隔
 ※初回接種(3回)：生後3カ月～12カ月に20日～56日の間隔で3回。
 ※追加接種(1回)：初回接種終了後から12カ月～18カ月後に1回。
 ※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
 ※三種混合予防接種を終了されていない場合は、町保健師にご相談ください。

小児マヒ(ポリオ)予防 不活化ワクチン接種

対象児 生後3カ月～90カ月までのお子さん
 ※不活化ポリオワクチンは初回接種3回、追加接種1回、合計4回の接種が必要です。

標準的な接種時期と接種間隔
 ※初回接種(3回)：生後3カ月～12カ月に20日～56日の間隔で3回。
 ※追加接種(1回)：初回接種終了後から12カ月～18カ月後に1回。
 ※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
予約 要事前予約 電話可(接種希望日の1週間前まで)
予約先 町民福祉課 健康推進グループ(☎26-7871)

ヒブ感染症※1・小児肺炎球菌 感染症※2予防接種

対象児 生後2カ月～60カ月に至るまで
標準的な接種時期と接種間隔
 [※1・2共通] 初回接種開始：生後2カ月～7カ月
 [※1の追加接種] 初回終了後、7～13カ月
 [※2の追加接種] 生後12カ月～15カ月
 ※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

水痘(水ぼうそう)予防接種

対象児 ①生後12カ月～36カ月に至るまでのお子さん
 ②生後36カ月～60カ月に至るまでのお子さん
 (②は平成26年度までの経過措置)

標準的な接種時期と接種間隔
 [対象①] 初回接種(1回)：生後12カ月～15カ月
 追加接種(1回)：初回接種後6～12カ月後
 [対象②] 接種対象期間内に1回接種
 ※①②ともに、既に罹患済みの場合や既定の回数を接種済みの場合は対象外です。
 ※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

上記の予防接種の「とき」・「ところ」・「受付」・「持ち物」については、すべて下記のとおり(共通)です。

とき 毎週 月曜日～金曜日
 (木曜日午後と祝日は休診です。)
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
持ち物 母子健康手帳、印鑑

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。(http://www.toma-med.or.jp/) また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
 携帯電話用URL http://www.toma-med.or.jp/phone/ ※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承願います。

【お知らせ】2月の日曜・休日当番医は『情報ひろば』に掲載しています。

体を動かしていますか？

～厚真町民は、糖尿病患者が増えています～

厚真町民(国民健康保険加入者)の医療費

厚真町の平成25年度(累計)の医療費分析で、予防が可能な3大生活習慣病(下表の太字の疾患)の、入院外と入院、それぞれの1件当たりの金額が見えてきました。

疾患名	入院外(円/件)	道内順位	入院(円/件)	道内順位
糖尿病	37,611円	78位	595,483円	43位
高血圧	30,004円	115位	548,970円	126位
脂質異常症	31,994円	46位	543,155円	85位
脳血管疾患	33,871円	127位	472,947円	161位
心疾患	39,710円	104位	656,687円	80位
腎不全	157,668円	62位	653,714円	101位

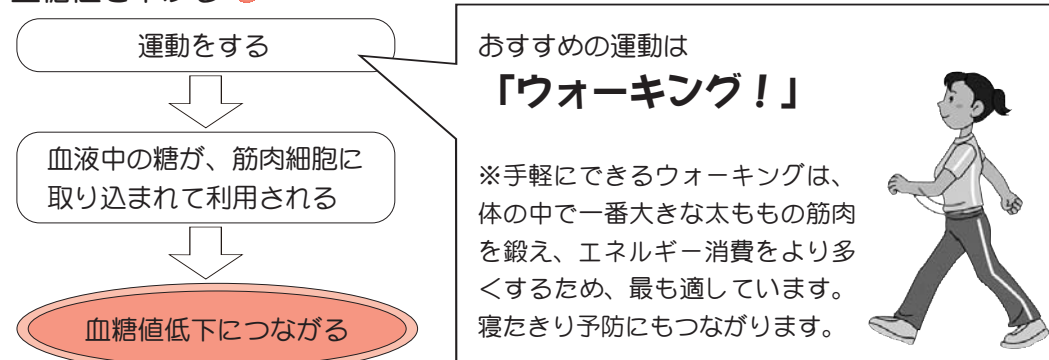
介護認定者の糖尿病有病割合は、23.1%となっており、国の18.6%を大きく上回っています。

厚真町の状況を見ると、**糖尿病の入院医療費が高くなっています**。つまり、糖尿病が悪化してから医療を受けていることが多いと予測されます。

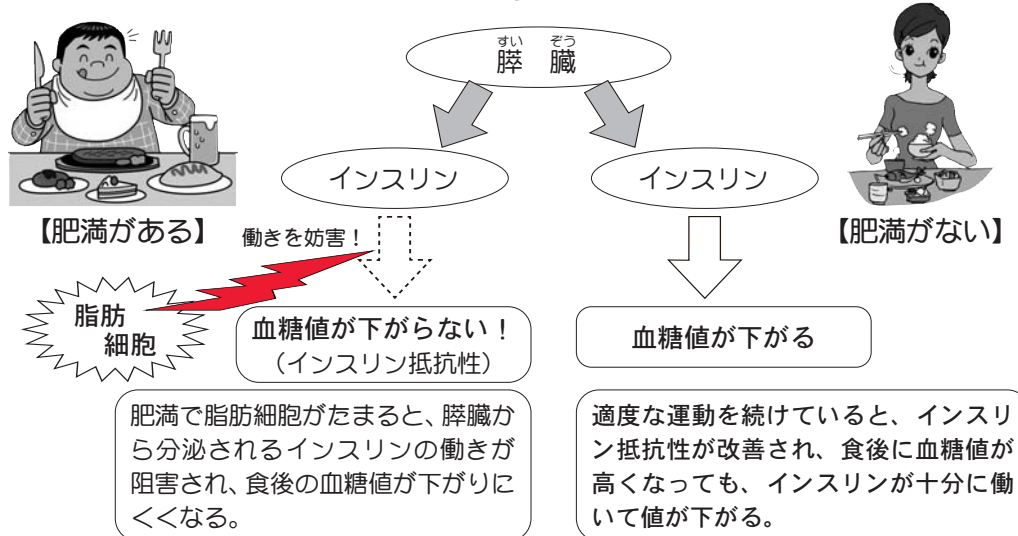
糖尿病の発症を予防する、また、重症化させないためには、食事はもちろん、「運動」が大切です。

運動がもたらすさまざまな効果 ～楽しく・長く続けられる、自分なりの運動方法を見つけましょう～

●血糖値を下げる●



●肥満を解消し、インスリンの効きを良くする●



今月のつづき

昨年末に自分の体のメンテナンスと称して、人生初の整体に。股関節・肩甲骨周辺の年期の入ったコリ、頸椎、腰椎の歪みを指摘され…。私もまずは運動不足を解消したいと思います…。

●肥満を解消し、インスリンの効きを良くする●

運動習慣は、糖尿病だけでなく生活習慣病全般の予防にもつながります。

お知らせ

平成27年度「あつま新年交礼会」を行います

厚真町内の6団体が共催する、平成27年「あつま新年交礼会」を開催します。

日時

平成27年1月7日（水）

午後5時30分から

場所

総合福祉センター大集会室

会費

3,000円（当日会場受付にてお支払いください）

申し込み

出席される方は、当日直接会場にお越しいただくか、事前に商工会までご連絡ください。

■申し込み・問い合わせ先
厚真町商工会（☎27-2456）

申請

入札参加資格審査申請書の受付をします

平成27・28年度に町が発注する建設工事等の入札に参加される方は、次により入札参加資格審査申請書を提出してください。

また、建設業以外の物品等販売指名を希望する町内業者の方は、入札参加資格審査申請書の提出を特に必要としません。

提出書類

入札参加資格審査申請書および工事または物件の販売等の実績や誓約書など、指定の添付書類。

有効期限

平成27・28年度の2年間

受付期間

2月1日（日）～2月28日（土）

（土、日曜日、祝日を除きます）

受付窓口・問い合わせ先

役場総務課財政グループ
（☎27-2481）

確定申告

確定申告会場

開設期間等のお知らせ

苦小牧税務署では、次のとおり確定申告会場を開設します。申告書の作成には時間がかかりますので、なるべく早めにお越しいただくようお願いいたします。

確定申告会場にお越しの際には、「前年の申告書控え」、「確定申告に必要な書類」および「印鑑」をご持参ください。

確定申告会場

苦小牧市労働福祉センター2階ホール（苦小牧市末広町1丁目15番7号）

※昨年と会場が変更になっていますのでご注意ください。

開設期間

平成27年2月2日（月）から

3月16日（月）まで（期間中の土・日曜日、祝日を除く。）

※期間中は、税務署には確定申告会場を設置していません。

受付時間

午前9時から午後4時まで

【苦小牧労働福祉センター周辺地図】



講座

第4回地元学講座を開催します

厚真を知る会では、次のとおり「第4回地元学講座」を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

テーマ

まちなか交流館つてなあと？

日時

平成27年1月26日（月）
午後6時開場 午後6時30分開講

■会場
総合福祉センター大集会室

■参加費
300円

問い合わせ

厚真を知る会 事務局 宮下（教育委員会生涯学習課内）
27-2495 ☎

情報

パソコン講習を行っています

苦小牧地域職業訓練センターでは、毎月パソコン講習を企画しています。

2月は初心者向け2コース（初めてのパソコン、ワード初級）、中級者向け2コース（ワード中級、パワーポイントを使って発表資料作成）、上級者向け1コース（エクセル2級検定対策）の計5コースを実施予定です。

講習日程・受講料など

詳しくは、苦小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先

苦小牧地域職業訓練センター（ホームページ）
http://www.tomakomai.ac.jp/
☎0144-5516622



水道凍結にご注意ください！

水道凍結

今年も寒い時期がやってきました。毎日ニュースや天気予報を確認し、低温注意や水道凍結注意の予報が出た時は、水道の水抜きを行うようにしましょう。

水道を凍結させてしまうと、水が使えなくて不便だけでなく、水道管の破裂等の原因にもなり、修理費用に多大な金額がかかる場合があります。また、厳寒期になると夜間だけで

なく昼間も凍結する場合がありますので注意しましょう。

水道の水抜きは水抜き栓で行いますが、水抜き栓は家の中に複数あったり、目立たないところにあつたりもしますので、場所や動作状況を確認しておきましょう。

問い合わせ先

役場建設課上下水道グループ
（☎27-2326）



花火と干支文字の共演！スターフェスタ2015inあつま

町商工会青年部（櫻井裕司部長）では、スターフェスタ2015inあつま「第16回冬の花火大会・『未』の干支文字焼き」を開催します。皆さんのご来場を心からお待ちしています。

■日時
2月7日（土） 午後6時30分から（予定）
■場所
こぶしの湯あつま
■内容
・厄払い豆まき、餅まき

年男年女、厄年の方に豆・餅をまいりいただき、鬼（疾病や災難）を退治してもらいます。一般の方には、豆・餅拾いをしていただきます。

・干支文字焼き
こぶしの湯から見える雪原に2015年の干支「未」の文字焼きをします。直線距離270mで、花火と干支文字焼きの共演が楽しめます。

・打ち上げ花火
干支文字完成後に真っ白い雪原を舞台にした音と光の演出で、約2,000発の花火を打ち上げます。

・樽酒、ココアの提供
大人の方には樽酒を、また、お子様などにはココアを無料提供いたします。



▲昨年のスターフェスタ

詳細につきましては、1月下旬の新聞折り込みチラシをご覧ください。
天候などにより、日時が変更になる場合があります。ご了承ください。

■問い合わせ先
厚真町商工会（☎27-2456）

今年も両イベントが隣接した会場で開催！！

夢と希望の灯り2015光のページェント第15回ランタン祭り

ランタン祭り実行委員会では、町民の皆さんや団体などのご支援をいただき「夢と希望の灯り2015光のページェント第15回ランタン祭り」を開催します。

約5,000個のランタンが織りなす、心癒される灯りをお楽しみください。

また、「ランタン焼き」などの協賛事業も予定していますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

■日時
2月7日（土） 午後4時45分開会式
■場所
こぶしの湯あつま周辺
■お願い
作製目標を5,000個としています。皆さんのご協力をお願いします。



▶昨年のランタン祭り

■問い合わせ先
第15回ランタン祭り実行委員会
実行委員長 金本圭二さん（本郷・☎27-3611）

2月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病 院 名	住 所(苦小牧市)	電話番号(0144)	【診察時間】9:00～17:00 当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。 【お知らせ】『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。 【ホームページアドレス】http://www.qq.pref.hokkaido.jp 【電話】フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
1日(日)	内科系	たかぎ内科・循環器内科	北栄町1-22-18	53-7700	
	外科系	勤医協苦小牧病院	見山町3-9-10	72-3151	
8日(日)	内科系	うとないキッズクリニック	北栄町1-22-36	53-8080	
	外科系	同樹会苦小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
11日(水・祝)	内科系	すえくに医院	川沿町6-20-13	72-8385	
	外科系	とよた腎泌尿器科クリニック	元中野町2-17-12	31-2000	
15日(日)	内科系	方安庵青雲町クリニック	青雲町2-12-16	61-5555	
	外科系	苦小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	
22日(日)	内科系	桜木ファミリークリニック	桜木町2-25-1	71-2351	
	外科系	三上外科整形外科	元中野町3-8-14	33-7815	

【問い合わせ】
室蘭地方気象台
☎0143-22-4249

また、住宅周辺の除雪や屋根の雪下ろし作業中に、転落や落雪等による事故が毎冬多く発生しています。雪が止んだ後でも、作業には十分な注意が必要です。

今月の内容

☼ 気象台からの防災メモ・人口・世帯数 … 25

12月15日現在の人口
4,710人(前月比 +5)
男 2,314人／女 2,396人
世帯数 2,102(前月比+2)



なすの ゆづき
那須野佑月ちゃん



はしば たいち
橋場 太一くん



まちのアイドル

☆ 381 ☆



おかざわ かん た
岡澤 幹太くん



たかはし てるよし
高橋 輝吉くん